

リアスコースト南三陸  
水中楽園 ⑱



顔を上げれば民家もあり車や人も通行するその場所には、4年の月日を経て戻ってきたサケの雄姿があります。

石になりきり、シロザケを観察

昨年ご紹介しましたが、観察での感動をお伝えしたくて、今年も「シロザケ」を紹介します。

昨年からダイバーを対象に、11月10日ころから約1カ月間「シロザケ観察プラン」を企画しましたが、すこぶる好評です。食卓でもおなじみの魚種ですが、全国的には北海道の木彫りの熊のイメージが強いせいか、宮城で撮影できることに驚く方も多いようです。

このプランは、水深わずか30から50センチメートルほどの限られたエリアですが、産卵に至るまでの行動を観察できることは参加者にとっても感慨深いようです。

『動かざること山の如し』

川でダイバーは、ひたすらサケに警戒されにくいように石になりきります。その様子は、客観的には、近所の方に誤解を受けることもあります。

今回は撮影者の視点で、いったい何を楽しんでいるのか？体も沈みきれないほどの浅い水中にどんな魅力が待っているのか？を2枚の写真でご紹介いたします。



繁殖にそのすべてのエネルギーを費やす  
(写真・文 水中カメラマン 佐藤長明さん)

編集後記

▶城洋新聞の閉刊号(第10358号)が10月31日(水)に届きました。▶城洋新聞は、昭和30年の創刊以来、親子2代で新聞社を経営。半世紀余り地域の情報を配信し続けてきましたが、8月下旬に2代目社長の佐藤洋さんが急逝し、継続が難しく廃刊となりました。▶私は、現場で熱心に取材をする佐藤さんを見て、取材方法を学びました。▶情報交換や良い写真を撮るうとポジション争いをしたことも。▶急逝と廃刊。とても残念ですが、教えていただいたことを糧に、良い広報紙づくりに努めていきます。▶佐藤さんのご冥福をお祈りいたします。  
担当 佐藤

●日曜当番医

- 12/2 ささはら総合診療科 ☎47-1066(志津川字汐見町)
- 12/9 佐藤徹内科クリニック ☎47-1175(志津川字廻館前)
- 12/16 高橋クリニック ☎46-4315(志津川字中瀬町)
- 12/23 本田記念あおいクリニック ☎46-4530(志津川字十日町)
- 12/30 南三陸志津川クリニック ☎47-2777(志津川字塩入)
- 1/6 上田クリニック ☎36-2316(歌津字中山)

●第1・第3日曜歯科当番医

- 12/2 小野寺歯科医院 ☎36-3717(歌津字伊里前)
- 12/16 茶園歯科医院 ☎46-3629(志津川字十日町)
- 1/6 米倉歯科医院 ☎42-2630(本吉町津谷松岡)

※日曜当番医は、変更となることがありますので、あらかじめ電話で確認してください。受診の際は保険証をお持ちください。